

第60回彩の国建設工事の入札及び契約事務適正化委員会 議事概要

- 1 日時
平成30年7月27日(金) 午後2時～午後3時
- 2 場所
埼玉教育会館104会議室
- 3 出席委員
青木委員長、猪木委員、及川委員、長岡委員、宮本委員
- 4 報告事項
(1) 公共調達改革の実績(H19～H29)について
(2) 平成30年度の公共調達における取組について
(3) 平成29年度県発注工事の状況について

【質疑応答及び意見】

委員： 建設業の就労環境において、収入面での比較データはないのか。
オリンピックで人手不足になっているのに、若者層の離職率が高く、10年後は約111万人が引退と聞くとお先まっ暗に見える。
若者層の離職率が高い原因は何か。

事務局： 県のデータはなく、厚生労働省や国土交通省のデータはある。
建設業は他産業に比べて収入は低い。ここ数年の労務単価の引き上げに伴い、上昇傾向ではある。
収入もひとつの要因である。

委員： 一般競争入札の導入率が100%でないのはなぜか。
調査基準価格の設定方法はどのようなものか。
県内企業の定義とは何か。

事務局： 1,000万円以上の工事を分母としているが、随意契約による災害関連の緊急工事や一般競争入札の不調・不落の後に指名競争入札に移行した案件があるためである。
最低制限価格の算出方法と同一である。
県内に本店又は主たる営業所がある企業のことである。

委員： 一般競争入札の適用を500万円以上の工事へ拡大したとの説明があったが、500万円～1,000万円の工事は、一般競争入札でない場合があるのか。

事務局： 500万円～1,000万円の工事に関しては、内容に応じて一般競争入札で実施しており、実施率は50%程度である。

5 審議事項及び結果

【質疑応答及び意見】

委員： W T O対象案件2件のうち、一番大きい工事は、
随意契約1号案件を審議対象としているが、理由はあるのか。
随意契約2号及び6号とは具体的にどのようなものか。

事務局： W T Oは対象が工事において24億7千万円以上の案件で、地域要件に制限を設けないものである。2件のうち1件は所沢警察署の庁舎新築工事で予定価格25億3千6百万円の案件であり、今回抽出した防災行政無線工事のほうが金額が大きい。
随意契約案件の中で一番件数が多いため、1号案件から抽出した。
2号は「競争に適さない」ものとして、河川や浄水場のポンプ設備の更新工事等がある。
これは、施工できる者が1者しかない可能性の高い建設工事であり、当該施工できる者以外に施工できるものがあるかどうかを確認するため、一般競争入札として特定者及び契約予定価格を公表し、他者の入札参加意思の有無を確認する方式により入札するものである。他者の参加希望がない場合、特定者と随意契約をする。このような案件は数件あり、金額も大きい。
6号は「競争が不利と認められるもの」であり、当該施工者と契約したほうが、安全性や価格で有利な場合などが該当する。

委員： 現在の抽出工事6件のほかに随意契約2号、6号をそれぞれみてみたい。

平成29年度県発注工事に係る抽出工事（案）について

原案の6件は【抽出工事一覧】のとおり決定した。

なお、次回委員会で次の2件を追加で抽出し、審議に加えることになった。

随意契約の2号で1件、6号で1件。

【抽出工事一覧】

- ・ 埼玉県地上系防災無線設備再整備工事
（一般競争入札（W T O）、危機管理防災部消防防災課）
- ・ 南部流域荒川北幹線ほか人孔蓋修繕工事
（指名競争入札）下水道局荒川左岸南部下水道事務所）
- ・ 29江袋第101号応急対策工事
（随意契約（随契1号）農林部大里農林振興センター）
- ・ 総A除）社会資本整備総合交付金（改築）工事（（仮称）中川新橋上部工）
（一般競争入札（総合評価）県土整備部行田県土整備事務所）
- ・ 総簡加）17越谷合同庁舎エコオフィス化空調設備改修工事
（一般競争入札（総合評価）都市整備部設備課）
- ・ 橋りょう修繕工事（関宿橋高架橋橋面補修工）
（一般競争入札（価格競争）県土整備部杉戸県土整備事務所）